

## Windows Vista のサウンドカードの調整

Shu, J03KLS

トランシーバーとパソコンをインターフェースでつないで実際の無線で MMSSTV や EasyPal を運用する時と違い、HamSphere で MMSSTV や EasyPal を運用する時はパソコンのサウンドカードが HamSphere と MMSSTV や EasyPal に共有された形で働いているようです。音声を送信するときと画像を送信するときにはサウンドカードの ステレオミキサー (WAV 出力ミキサー) とマイクの機能を切り替えて使用しています。ところが、Windows Vista では MMSSTV や EasyPal のサウンドカードを操作する機能が使えません。

そして、パソコンによってはステレオミキサーが表示できないものがあります。以下は、Windows Vista でサウンドカードを調整した私の経験をまとめたものです。

### 1. デスクトップにアイコンを作る

手順を図 1～図 3 に示しますが、パソコンのデスクトップ左下隅のスタートボタンをクリックしてコントロールパネルを開きます。そこで、スピーカーのアイコンを探し右クリックしてアイコンを作成します。

Windows XP で MMSSTV や EasyPal を使う時はそれぞれのソフトの機能を使ってサウンドカードを開いていましたが Vista ではその機能が使えないのでデスクトップのアイコンでこの機能を代用します。これで、いつでもサウンドカードを開くことができます。



図 1

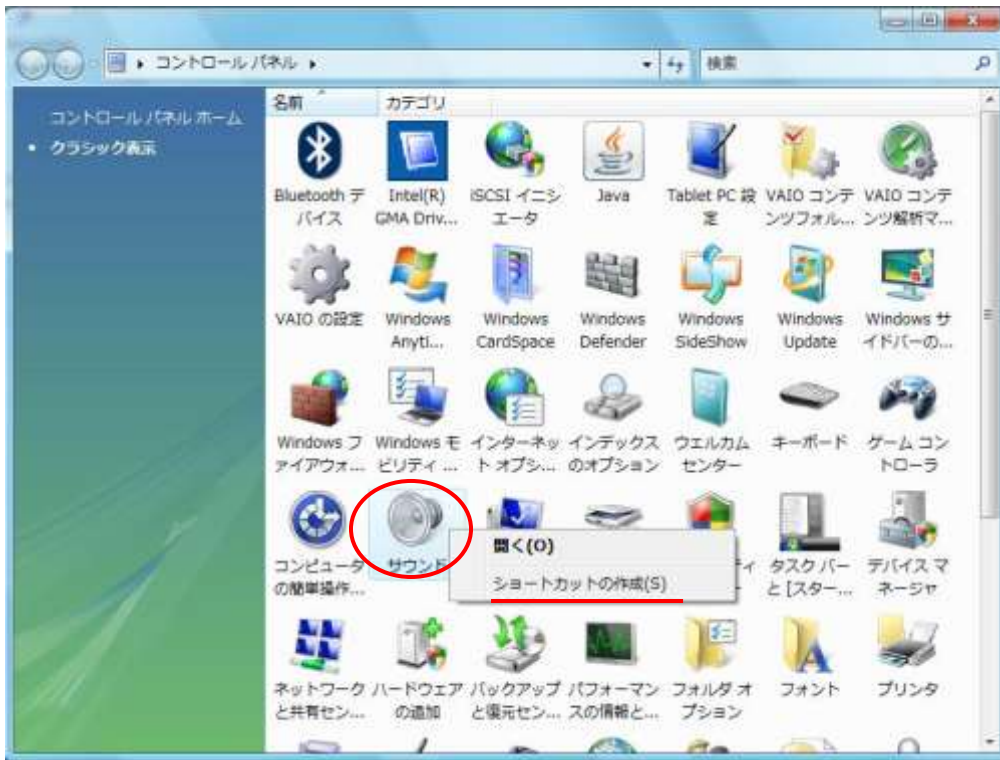


図 2

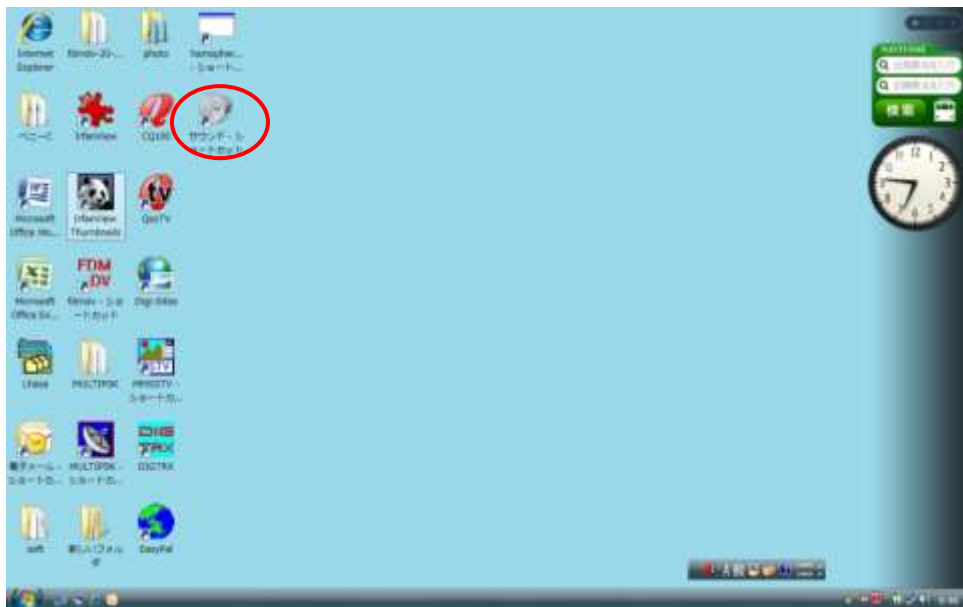


図 3

## 2. スピーカー出力の調整

2-1. 作成したデスクトップのアイコンをクリックすると図4が開きます。タグの「再生」はPlayback、「録音」はRecording、「サウンド」はSoundの表示になっているもパソコンもあります。

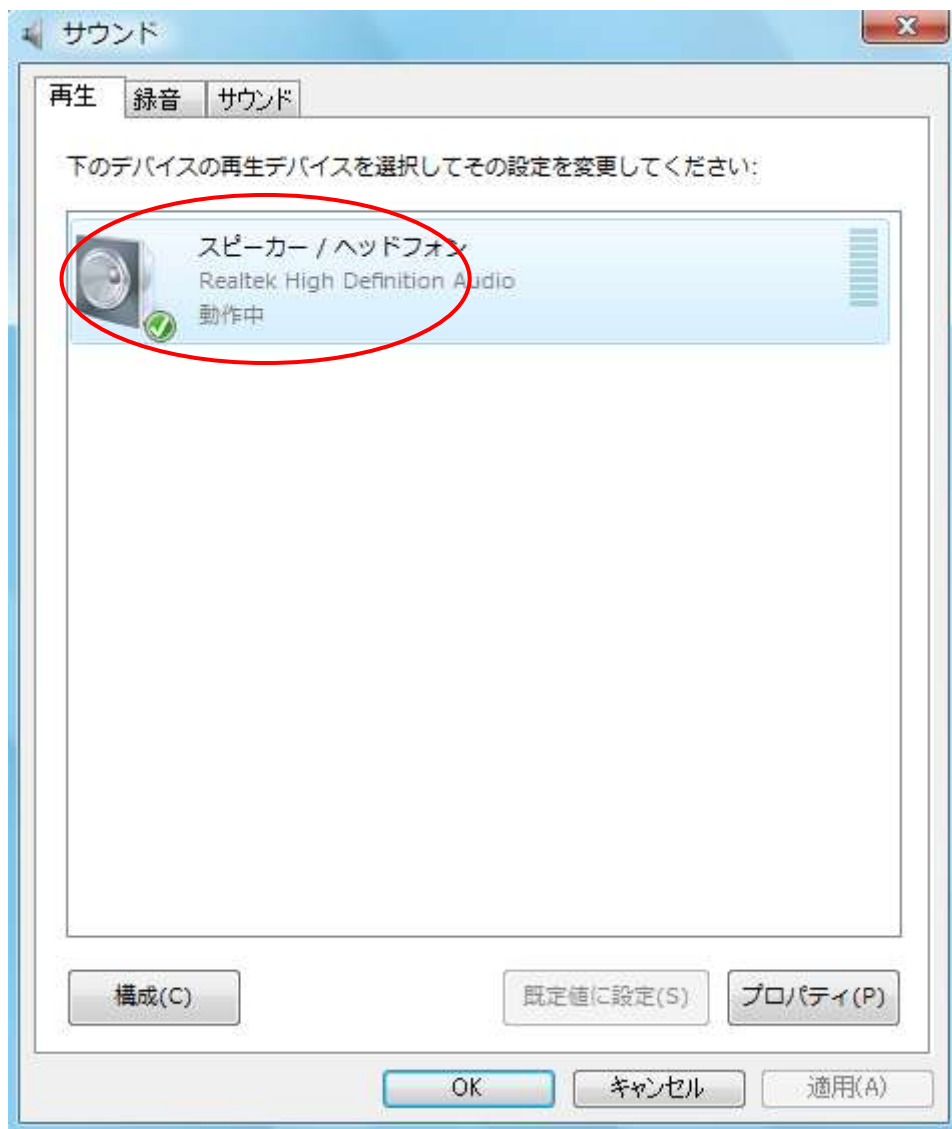


図 4

2-2. 続いて、開いた画面（図4）でスピーカー（スピーカー／ヘッドホン）のアイコンをダブルクリックすると、また、新しい画面（図5）が開きます。

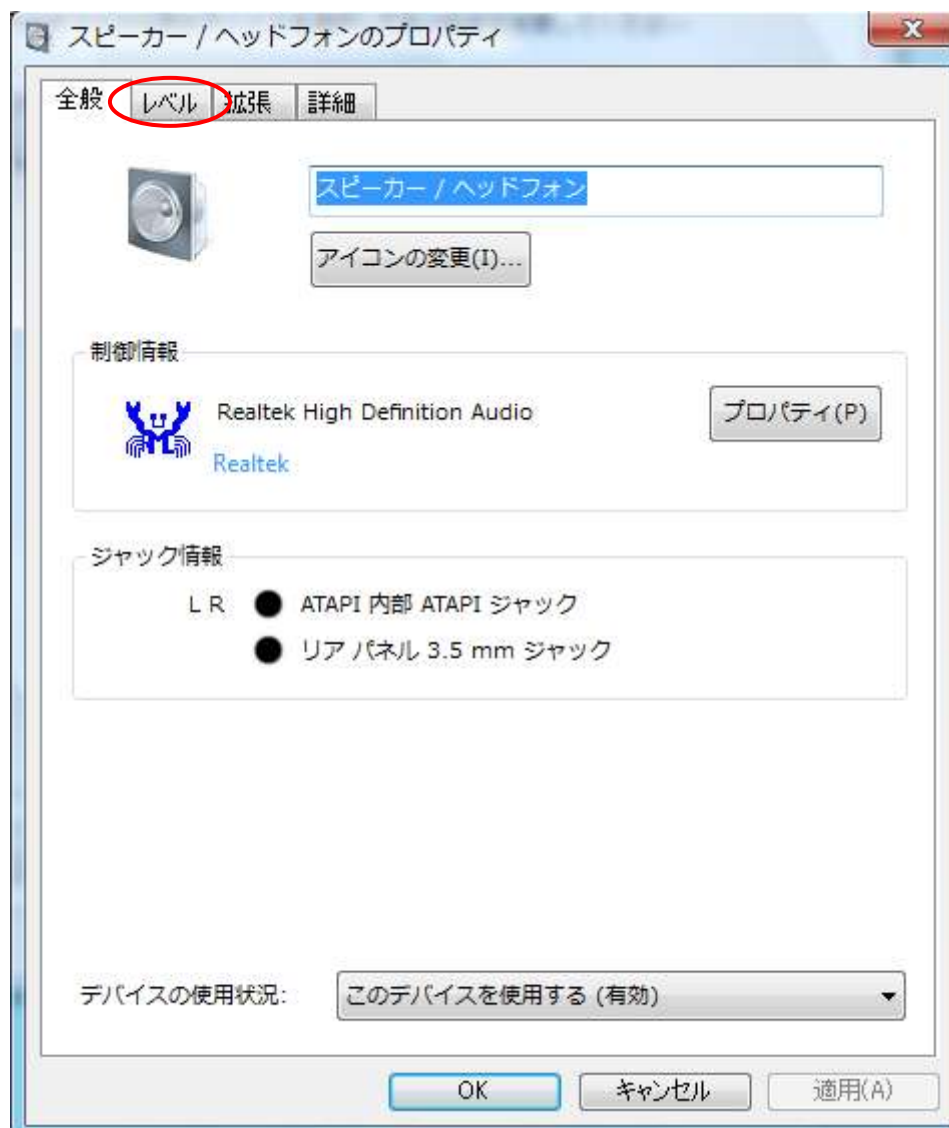


図 5

**2-3.** 更に、その画面（図5）で「レベル」のタブを選択してスピーカーコントロール（図6）を開きます。

この画面でスピーカー（スピーカー／ヘッドホン）の出力レベルを調整します。このとき、マイクは必ずミュートにします。Beepはウインドウズの機能でマウスなどを操作したときに出るビーブ音ですがこれもミュートにしたほうがよいかもしれません（私はミュートにしています）。

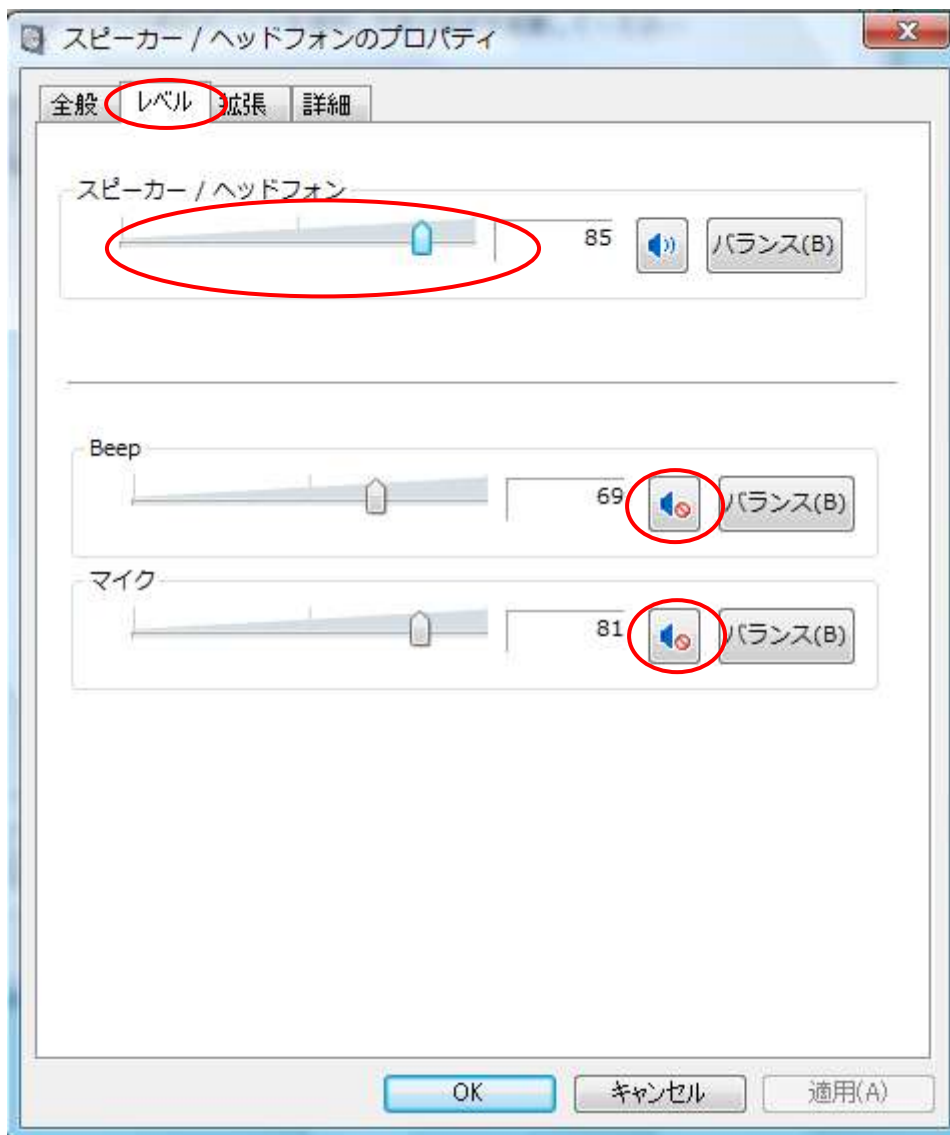


図6

ミュートの方法は簡単です。スピーカーの絵をクリックするだけで赤丸に斜線がはいたマークが出てミュートとしたことを知らせてくれます。

もし、マイクをミュートしないと送信時にフィードバックが起こってハウリングのような現象になります。

ただし、パソコンによって、サウンドカードに違いがあり、このマイクをミュートしなくてもよいものもあるようです。

### 3. マイクのオーディオレベルの調整

**3-1.** スピーカーの出力調整が終わったら、図4の画面で「録音」タグを選択して図7の画面を開きます。

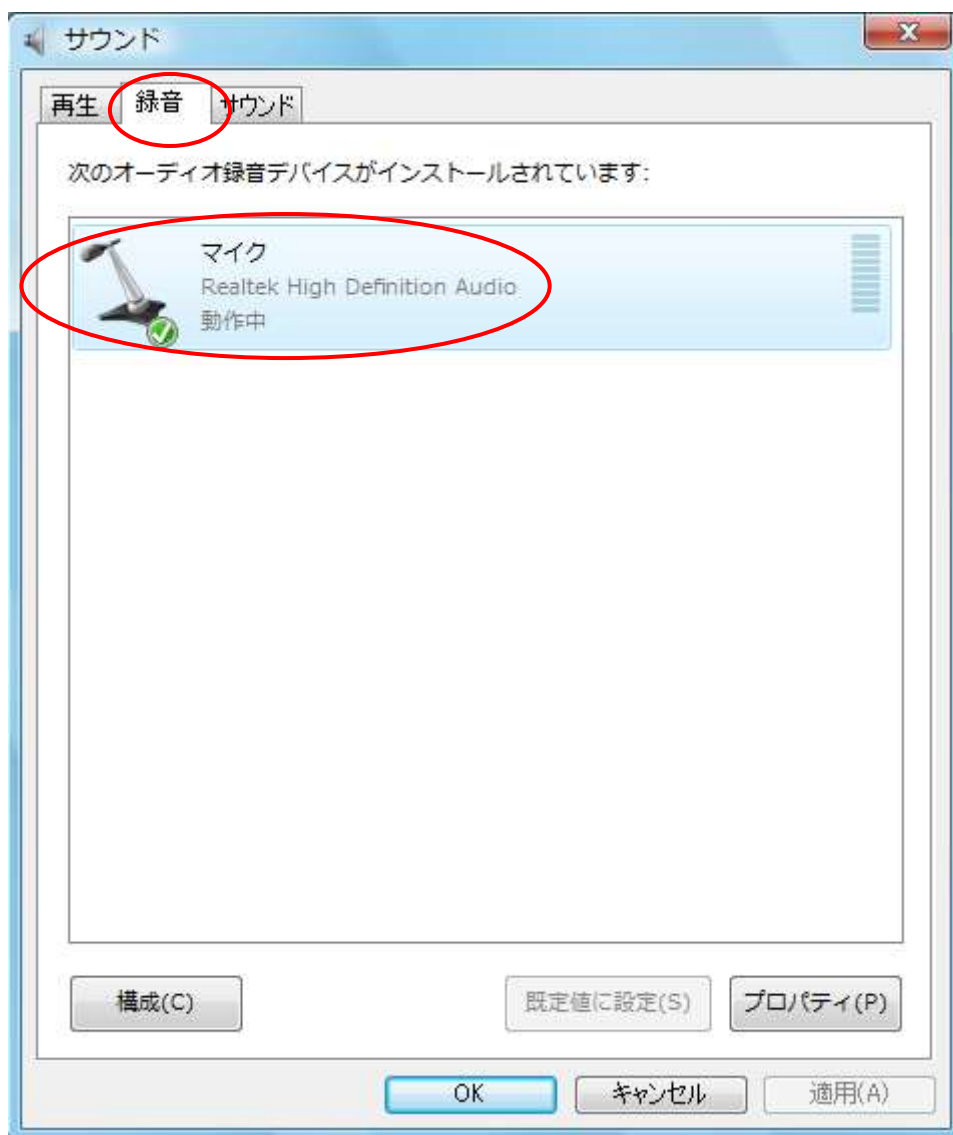


図7

3-2. 続いて、開いた画面（図7）でマイクのアイコンをダブルクリックすると、また、新しい画面（図8）が開きます。



図 8

**3-3.** 更に、その画面（図8）で「レベル」のタグを選択してマイクコントロール（図9）を開きます。

この画面でマイクレベルの調整をします。更に、音量が不足しているときはマイクブーストでレベルを上げる事が出来ます。

ブーストレベルは10dB、20dB、30dBの三段階がありますので、適当なレベルを選んでください。

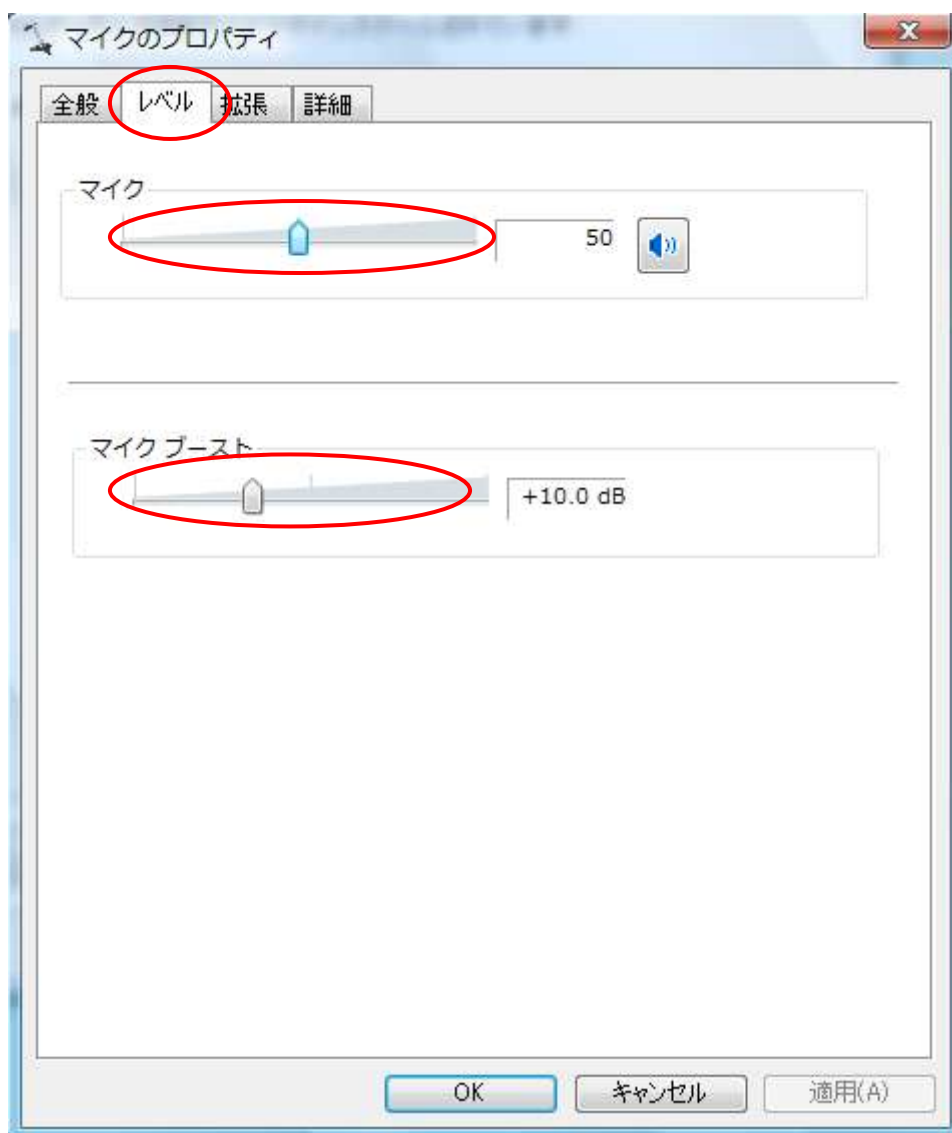


図9



#### 4. ステレオミキサーについて

冒頭にも書きましたが、インターネットを利用したソフト（HamSphere など）で MMSSTV や EasyPal を運用する時はパソコンのサウンドカードが HamSphere と MMSSTV や EasyPal に共有された形で働いているようで、音声を送るときと画像を送るときとの切り替えはサウンドカードが持っている機能を使って切り替えています。サウンドカードにステレオミキサーあるいは WAV 出力ミキサーと表現されている機能がこれに該当します。

ところが、Windows Vista ではこのステレオミキサーがなかなか見つかりません。他の資料によると以下のような方法で見つけることが出来るようですが、私の場合はこの方法でも見つかりませんでした。

#### ステレオミキサーを表示する方法

図 7 の画面でマイクのアイコンを右クリックして表示されたダイアログで「無効なデバイスの表示」（図 10 の左）にチェックマークを入れて一旦その画面を閉じた後、再度その画面を開くと図 10 の右画面のようにステレオミキサーが表示されるパソコンがあるようです。

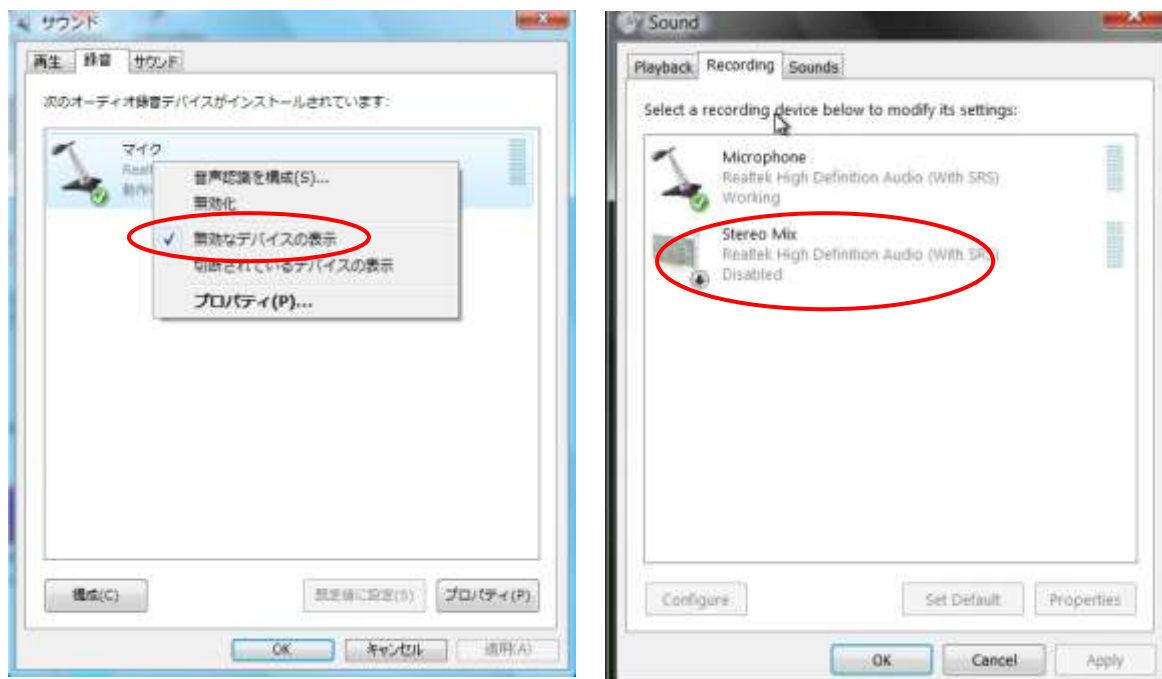


図 10

私のパソコンは上の操作をしてもステレオミキサーは表示されませんでしたと困りました。

パソコンのデスクトップの画面をよく見ていると画面右下の隅にスピーカーのアイコンがあるのに気づきました。

このアイコンをダブルクリックしたら右の図 1 1 のような小さな画面が開きその下に「ミキサ (x)」の表示が見えたので更にこれをクリックすると図 1 2 のように起動したソフトのそれぞれのアイコンと共にレベル調整用の「レバー」が表示されました。

何故か、MMSSTV のアイコンとレバーは表示されませんので、この段階では MMSSTV の出力レベルは他のソフトの調整レベルに依存するしかありませんので、別途、MMSSTV の機能を使って調整しなければなりません。

(1 2 ページ参照)



図 11

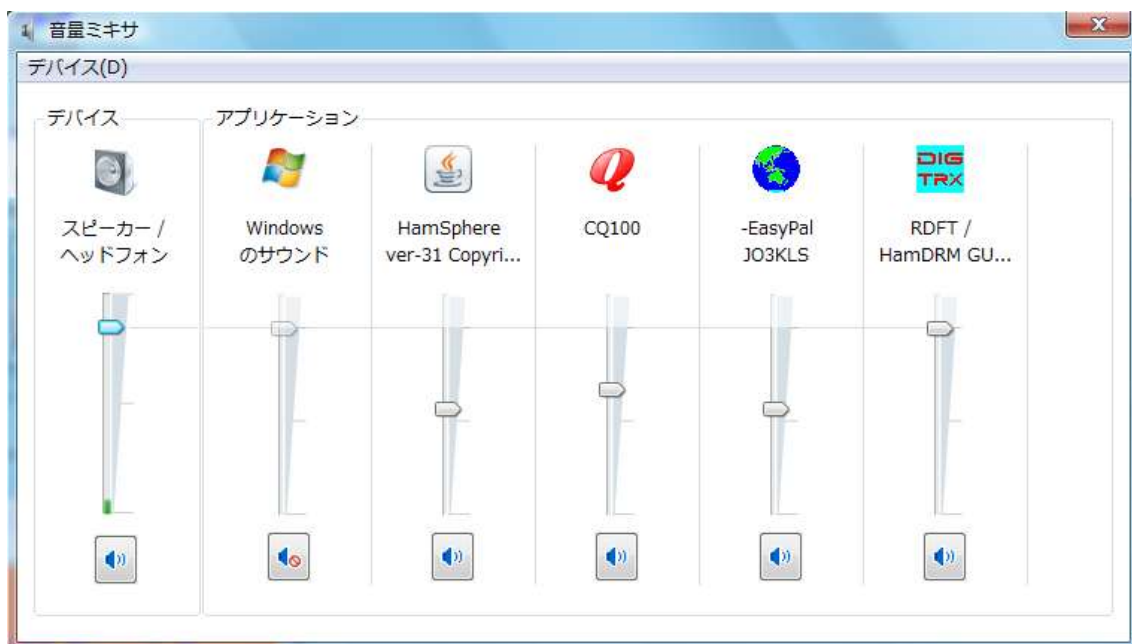


図 12

ミキサーらしきものは表示されましたが、図 12 の画面を見る限り、音声と画像の信号を切り替える Windows XP のようなステレオミキサー（あるいは WAV 出力ミキサー）（図 13）がありませんので、私の Vista の場合、別途、図 14 のように切り替えスイッチを用意して音声と画像を切り替えて QSO しています。

図 13 では Windows XP での画像送信の場合で、ステレオミキサーを選択していますが、音声送信のときはマイクを選択します。

QSO 中常にデスクトップに表示しておく必要があります。



図 13

### 切り替えスイッチのイメージ図

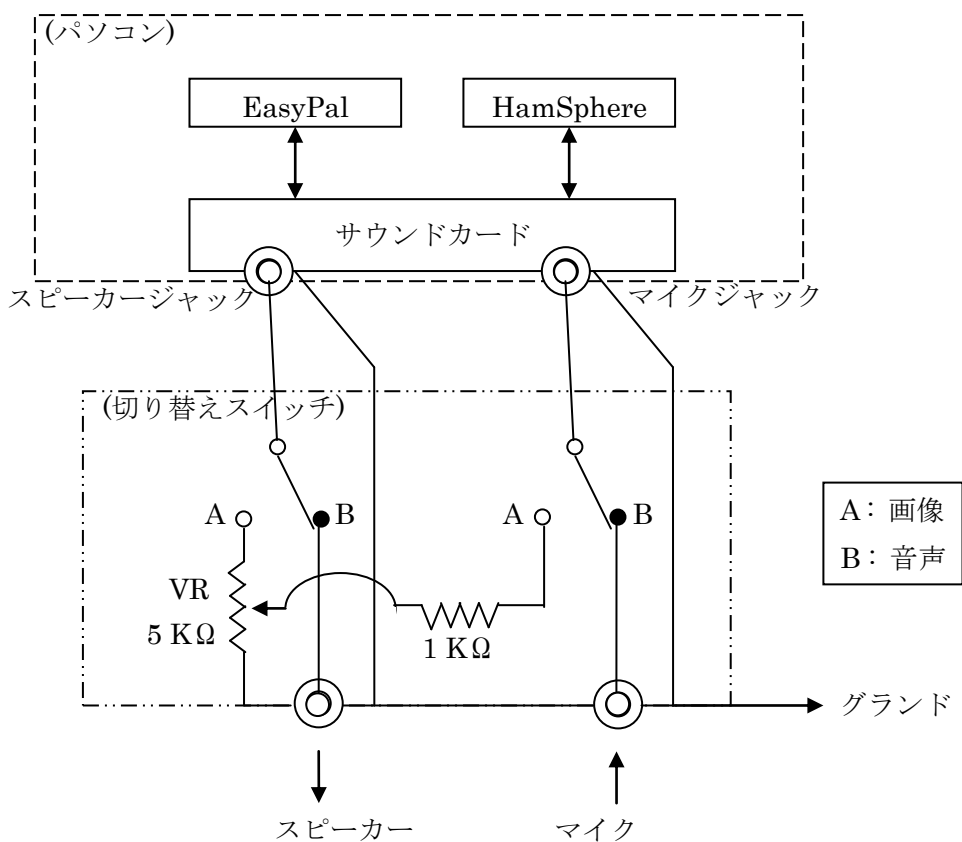


図 14

## MMSSTV の出力レベルの調整

MMSSTV 以外のソフトは図 12 の画面でレベル調整が出来ますが、MMSSTV の場合もう一箇所出力レベルを調整するところがあり、これが Windows Vista で MMSSTV を運用するポイントになると思います。

MMSSTV の画面で、図 15～図 16 の手順で「デジタル出力レベル」の調整を必ず行ってください。

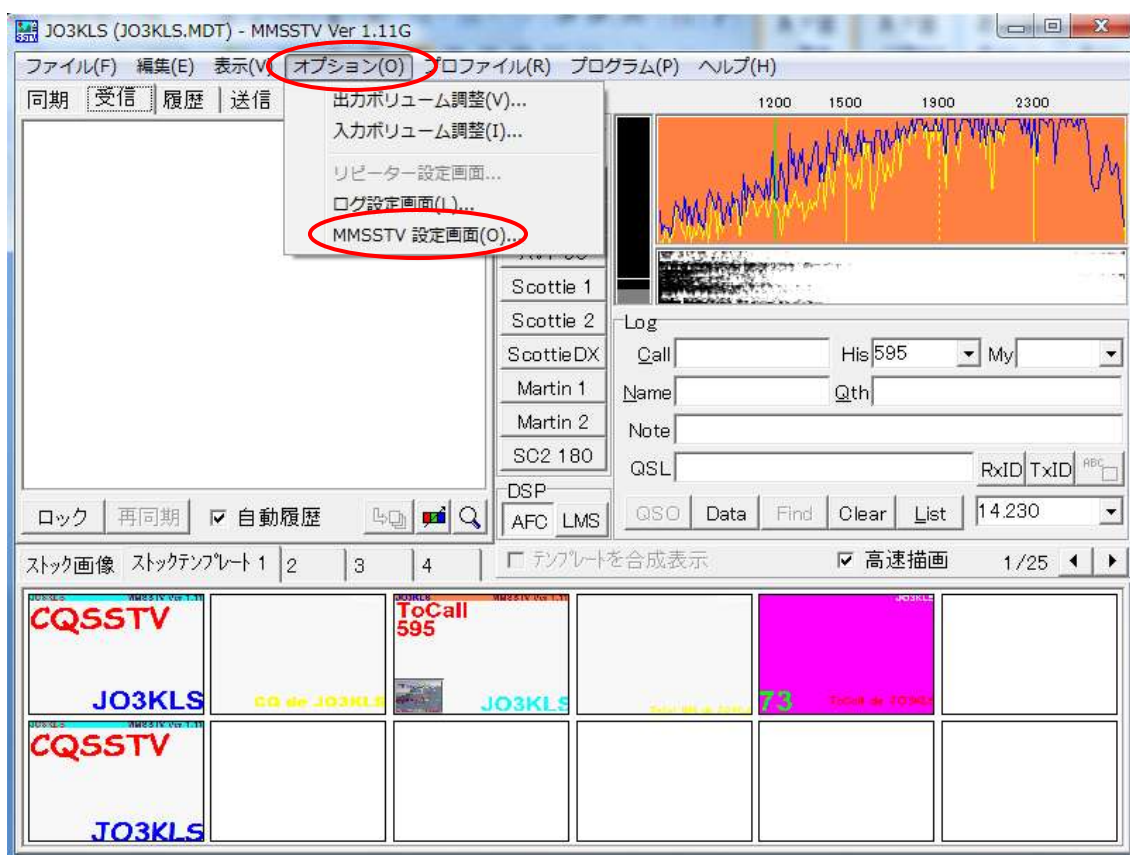


図 15

まず、図 15 の画面で「オプション」→「MMSSTV 設定画面」を選択して図 16 の画面を開きます。

(Windows XP ではこのオプションで「出力ボリューム調整」や「入力ボリューム調整」を選択するとサウンドカードの画面が開きましたが、Vista ではこの機能が使えません)

開いた図 16 の画面で「送信」タグを選択して「デジタル出力レベル」のレバーを左右に動かして調整します。右端がレベル最低、左端がレベル最高のです。図 16 は私の設定レベルを示しています。

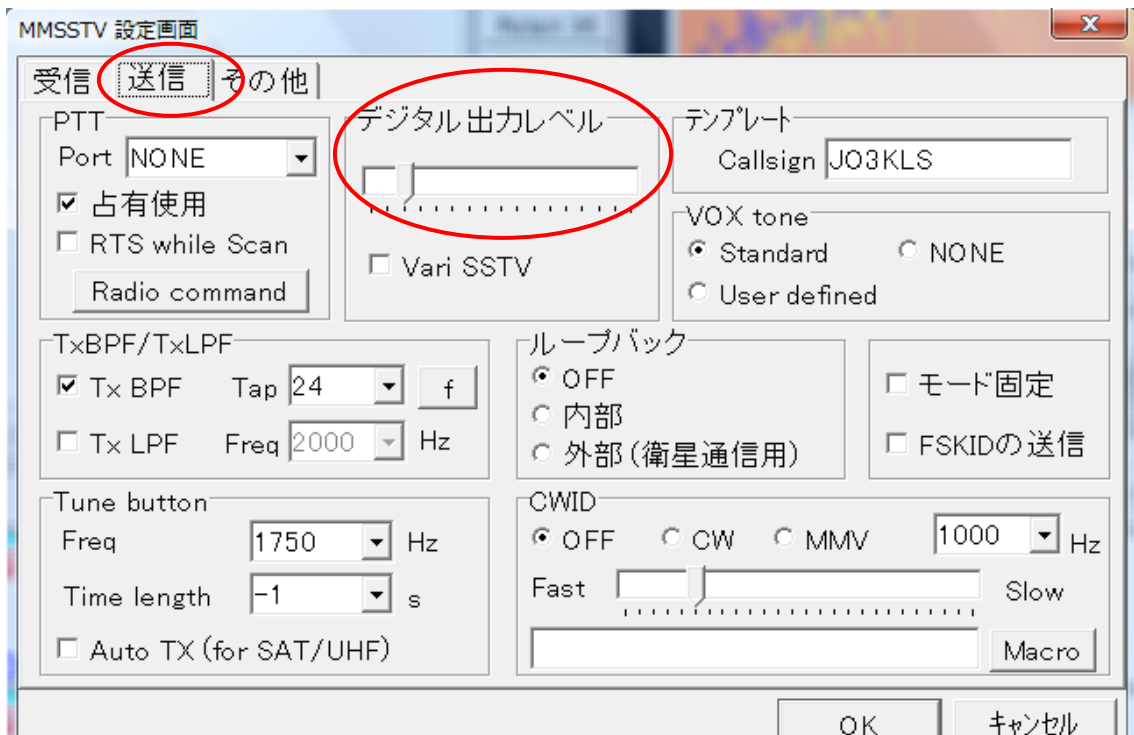


図 16

初めて、MMSSTV を運用される方はこのレベル調整が高すぎるのではないかとと思われる信号を HamSphere ではよく聞きます。ご承知のように、HamSphere では S/Mod (図 17) のレベルがグリーン  
の範囲で送信されるように言われています。特に音声以外の信号は黄色や赤のレベルは絶対に避けなければなりません。

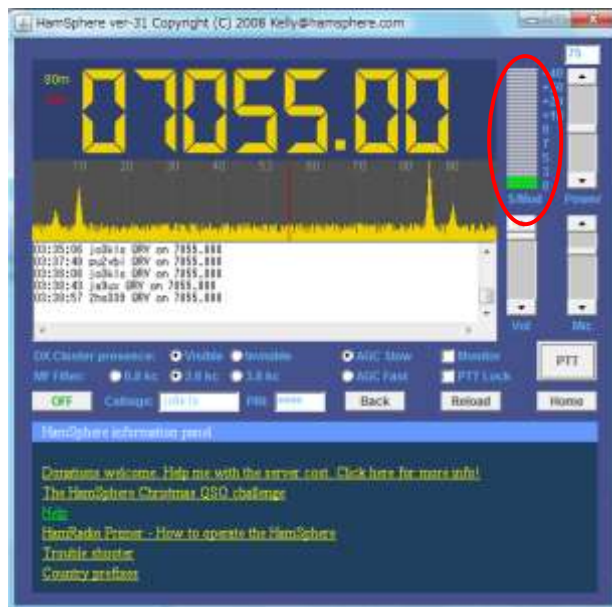


図 17